

名古屋大学大学院生命農学研究科
植物生産科学専攻情報農学研究分野准教授公募要領

1	募 集 件 名	准教授の公募
2	募集者の名称	国立大学法人東海国立大学機構
3	所 属	大学院生命農学研究科植物生産科学専攻
4	募 集 内 容	[職務内容（業務内容、担当科目等）] （雇入れ直後） 名古屋大学大学院生命農学研究科では、生命科学の基盤の拡充、生物機能・生物資源の高度利用、生命共生環境の創出・保全、および持続的生物生産と先端生命科学の技術開発を通して環境に調和した人類の発展を目指す総合的な学問分野として「生命農学」を位置づけ、創造的な研究活動によって真理を探究し、生命農学に関して世界屈指の知的資産形成・蓄積と継承に貢献することを使命としています。 植物生産科学専攻においては、国内外の食料需給や植物資源利用の多様化、地球規模での環境変動に対応し、植物機能や生産性の改善を通じて、食・環境・健康の質的向上に貢献することを目的としています。また、生命科学を基礎として、農学分野の科学的・実践的な技術の研究・開発に取り組むとともに、生命科学と社会科学の理論に裏付けられた高度な専門性と幅広い農学的素養および国際性を身につけた人材の育成を目指しています。 本専攻では、植物生産科学と情報科学・計測科学とを融合することで、作物生産に資する有益な情報を膨大なデータから抽出して活用するための研究を行うとともに、植物生産科学および最新の情報科学についての教育を担う、情報農学に関する研究室を新設します。 本公募では、圃場および実験室でのハイスループットなフェノタイピング技術などを駆使した植物生理生態研究において優れた研究業績を有し、当該研究分野および専攻の発展に貢献できる人物を求めます。また、上述の研究科・専攻の使命や目的を踏まえて大学院・学部の教育、研究指導、ならびに管理運営に責任感と協調性をもってあたる人が望まれます。 【担当する業務】

		・植物生産科学と情報・計測科学を融合させた分野の発展に貢献する先端的な研究 ・生命農学研究科および大学の管理運営に関連する業務 ・大学院生命農学研究科および農学部における教育と研究 <担当授業科目> (1) 大学院 ・博士前期課程：作物科学特論、生命農学演習、修士論文研究など ・博士後期課程：博士論文研究 (2) 学部 ・全学教育科目、専門基礎科目、専門科目（作物科学、データベース利用演習など）、実験実習、専門セミナー、卒業論文研究など (変更の範囲) ・東海国立大学機構が指定する業務	
		[勤務地] (雇入れ直後) 愛知県名古屋市千種区不老町 (変更の範囲) 東海国立大学機構が指定する就業場所	
		[募集人員] 准教授・1名	
		[着任時期] 2025年10月1日以降早い時期	
5	募集研究分野	大分類	生産環境農学
		小分類	作物生産科学
6	勤務形態	常勤 契約期間：期間の定めなし	
7	応募資格	[必要な特定分野の資格・条件（学位などを含む）・専門性等の詳細] ・博士学位を有している者 ・作物生産科学、情報科学、計測科学およびその関連分野を専門分野とし、優れた研究業績を有する者 ・大学院と学部における教育と研究指導に、熱意と責任感、協調性を持って取り組むことができる者 ・関連する講義、演習、実験などの教育経験があることが望ましい	
8	待遇	[採用後の待遇（給与、勤務時間、休日、雇用期間、保険等）]	

		・東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによる。 https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110010928.htm ・給与は、東海国立大学機構名古屋大学年俸制適用教員給与規程において定める年俸制とする。 https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110001585.htm ・専門業務型裁量労働制により、1日7時間45分働いたものとみなされます。 ・受動喫煙防止措置：原則としてキャンパス内は喫煙禁止
9	応 募 期 間	2025 年 4 月 24 日～2025 年 6 月 23 日
10	応 募 ・ 選 考 結 果 通 知 連 絡 先	[応募方法（提出書類の送付先）] （1）応募する旨を明記した書類（応募者の連絡先、電話番号、電子メールアドレス等を含む） （2）履歴書 （3）研究業績リスト（原著論文、総説、著書、特許、その他に分類し、番号を付けてください。原著論文の責任著者に*印を付けてください。） （4）現在までの研究の概要（2,000 字程度、研究業績リスト番号を引用のこと） （5）今後の研究に関する計画と抱負（2,000 字程度） （6）大学院・学部における教育に対する考え方と抱負（1,000 字程度） （7）過去 10 年間の研究費獲得状況（科学研究費補助金等の競争的資金について、代表と分担に分けて、名称と直接経費の額を明記のこと） （8）大学における管理運営、社会連携、国際協働についての考え（1,000 字程度） （9）その他（教育実績、学協会関連活動、社会貢献、国際協働の実績など選考の参考になる事項） （10）応募者について照会できる方 2 名の氏名、連絡先、電話番号、電子メールアドレス （11）「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」（11 その他のリンク先に提示した「様式 1」） （12）論文等の PDF ファイル（主要なもの 10 編程度） [書類送付先] 上記の提出書類（1）～（11）を 1 つの PDF ファイルにまとめ、主要論文の PDF ファイルとともにフォルダに入れ、圧縮（ZIP 形式）フォルダにしたものを、以下のアドレスに添付で送信してください。 メールのタイトルは「植物生産科学専攻情報農学研究分野准教授応募（氏名）」としてください。

		また、ファイルサイズは全体で 100MB を超えないようにしてください。やむをえず超えてしまう場合は、あらかじめご連絡ください。Eメールでの提出はファイルのサイズが大きい場合、受信できない可能性がありますので、可能な限りファイル共有サーバーをご使用くださるようお願いいたします。 なお、受領確認のメールを返信しますので、届かない場合には必ず委員長まで電子メールにてお問い合わせください。 書類の送付先アドレス（電子メール）：koubo-jn[at]agr.nagoya-u.ac.jp ※[at]を@に置き換えてください。 [問い合わせ先] 名古屋大学大学院生命農学研究科植物生産科学専攻（情報農学研究分野） 准教授選考委員会委員長 竹本 大吾 送付先アドレス（電子メール）：dtakemo[at]agr.nagoya-u.ac.jp ※[at]を@に置き換えてください。 [選考内容（選考方法、採否の決定）] ・書類選考の上、面接を実施することがあります。 なお、対面にて面接を実施する場合の交通費は自己負担とします。 ・採否の結果については、原則、電子メールで連絡します。
11	その他	・本募集では研究業績、教育業績、社会的貢献、人物等の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。 ・出産・育児・介護・病気等の理由により、過去に研究活動を中断・遅延した期間があれば、その点を履歴書に記載することができます。本学ではそれを記載したことにより、不当な評価を受けることはありません。 ・本学では、多様性の推進やワークライフバランスの促進に、積極的に取り組んでいます。詳細については以下のURL をご覧ください。 ジェンダーダイバーシティセンターWebサイト： https://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/ ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン&ビロニング（Diversity, Equity, Inclusion & Belonging: DEIB）推進宣言： https://www.thers.ac.jp/about/declaration/deib/index.html ・2021 年 11 月「外国為替及び外国貿易法」（外為法）に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い、本公募に応募の際、「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」（https://www.agr.nagoya-u.ac.jp/general/fefta.html の「様式 1」）の提出が必要

		となります。また、採用時には「誓約書」の提出が必要となります。 ・応募データは、本選考以外の目的には使用しません。 ・応募データは、本選考委員会が責任を持って処分します。
--	--	--